

科研費基盤研究(C) 通言語的観点から分析する逆使役化 関連形態法の広がり 2017 年度研究会 研究代表者：佐々木冠（立命館大学）



場所：立命館大学衣笠キャンパス
創思館 303・304 教室

日時：2月24日土曜日 13:00-
2月25日日曜日 16:00

*）どなたでも参加できますが、2月22日
までに連絡をいただけますと資料を準備
する上で助かります。

お問い合わせは k-sasaki@fc.ristumei.ac.jp
まで。

2月24日土曜日

13:00 開会の挨拶、趣旨説明（主催者）

13:30-14:30 佐々木冠（立命館大学）

逆使役形態法の形式上の広がり：ネオ方言
としての北海道方言の新しい自発接尾辞異
形態-sasar

14:30-15:00 休憩

15:00-16:00 梅谷博之（東京大学）

モンゴル語の -gd による逆使役の特徴：
種々の表現との共起関係から

16:10-17:10 佐久間淳一（名古屋大学）

フィンランド語における逆使役構文

17:20-18:20 白石英才（札幌学院大学）

ニヴフ語における逆使役構文の成立条件：
現地調査結果報告

2月25日日曜日

10:00-11:00 小林美紀（国立アイヌ民族博物
館設立準備室）・奥田統己（札幌学院大学）

アイヌ語動詞の項の増減と派生の方向

11:10-12:10 ♪ 特別講演 ♪

講師：坂井美日（国立国語研究所）

熊本方言における逆使役構文について

12:10-13:30 昼食

13:30-14:30 ♪ 特別講演 ♪

講師：林由華（国立国語研究所）

宮古語池間方言における受身・可能接辞 -
(r)ai の逆使役的性質について

14:40-15:40 佐々木冠（立命館大学）

有対自動詞と自発接尾辞による逆使役述語
の意味上の差異